

令和4年度 低学年外国語活動の成果と課題（○成果 ●課題）

「教材・教具の工夫」

○ピクチャーカードやミニカードがあることで、児童にとって身近な人や身の周りの物に関する簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真、実物などを結び付けることができた。また、それらを歌やゲームに活用でき、内容理解につながった。さらに、メニューボードを活用したことで、活動の流れが分かり、スムーズに授業をすることができた。

●単元末にワークシートを書く時間を取ったが、毎時間の振り返りもするべきだった。ワークシートに書くことで、前時に何をしたのか振り返ることができるからだ。低学年のワークシートを見直す必要がある。

「低学年の年間指導計画」

○低学年部で外国語活動の意識すべきことを共通理解したことで、笑顔で外国語活動に参加できる児童が増えた。また、教師同士の話し合いも行われ、教材を共有したり、アドバイスしたりすることができた。

●県から示された指導内容をもとに授業を進めることはできたが、より効果的に、日常的に指導内容を定着させるために、授業以外の活動のどこに位置づけていくのかを検討する必要がある。

「楽しい外国語に関する活動の工夫」

○ゲームやアクティビティを充実したことにより、楽しく外国語活動に参加できた児童が多かった。また、ゲーム等を通して、外国語が身につくことを再確認できた。

●1時間の授業のパターン化や思考を伴うゲームづくり、また、教師のクラスルームイングリッシュを増やすことで、さらに児童が楽しみながら主体的にコミュニケーションを図る土壌ができる考える。

「他教科等との関連」

○外国語活動で学習したことやALTの話聞いたことを実際に他教科で経験し、異文化を知ったり、日本と外国の違いの良さに気づいたりすることができた。

●他教科との関連を密にするためにも、環境の整備が必要だと考える。低学年の廊下に外国語コーナーを作り、いつでも目にする事ができると、もっと理解を深めることができるだろう。

「保護者の感想」

・低学年のうちから英語に親しみ、楽しそうに英語を話している様子が良かったです。

・自分たちのころは英語がなかったので、小学生のうちから英語に親しむのはいいです。